

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804214

案件番号 :1884730

主分野課題 :自然環境保全/持続的自然資源利用

副分野課題:

使用言語 :英語

**案件概要**

北海道は日本でも特出した地域ブランド力があり、認証制度等を活用した付加価値向上等、企業や市町村等で様々な取り組みがある。JICAではエチオピアで実施した住民参加型森林経営プロジェクトにて、国際的な認証取得からコーヒーに付加価値をつけ、住民の生計向上に寄与したケースがあり、本コースでは、認証制度や地域のブランド化などをうまく利用した自然資源の活用による地域振興について中核人材の能力強化を図る。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

地域ブランド化や認証制度などを通じて自然資源の持続可能な活用を促進することで地域振興に資する具体的なアクションプランが提案される。

**【対象組織】**

政府、地方自治体、公共団体において自然資源の適正管理、有効活用に関わっている部署またはそれに準じる組織

**【成果】**

1. 自然資本管理に関する基礎知識とフレームワーク（SDGs）を把握する
2. 認証制度システム等、地域資源活用のアイデアと現状を把握する
3. 生計向上における日本の取り組み事例から自国への適応の可能性を見つける
4. 持続可能な地域振興のコミュニティーづくりを理解する
5. 最先端の生計安定化に関わる取組を理解する
6. 自国における課題を整理し、課題解決に向けたアクションプランを作成する

**【対象人材】**

- ・ 政府、地方自治体、公共団体において自然資源の適正管理、有効活用に関わっているもの
- ・ 関連分野において5年以上の職務経験を有する者

**内 容**

1. 自然資本管理に関する基礎知識とフレームワーク（SDGs）
2. 認証制度の活用等、企業や市町村等における自然資本活用に関する取り組みの現状
3. 産学官連携等のパートナーシップに基づく、地域の自然資源を活用した商品開発とそのバリューチェーン
4. GISを用いた土地利用シナリオに基づいた生態系サービスの可視化手法とPES（生態系サービスへの支払い）へのアプローチ
5. GISと地元学を活用したコミュニティーマッピング
6. 振り返りの作成と発表（コミュニティーの可能性イメージ発表）

本邦研修期間

2018/5/13～2018/6/23

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA北海道（札幌）

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

学校法人 酪農学園大学

特記事項  
及び  
ホームページ